

また、閉鎖性水域における富栄養化の主因とされる窒素及び磷については、現状の化学的知見では数量化ができないため、今後の調査、研究に待つこととして本計画の対象項目から除外した。

### 3. 騒 音

騒音に係る環境基準としては、地域に係る基準、道路に面する地域に係る基準、航空機騒音に係る基準、新幹線鉄道騒音に係る基準がそれぞれ設定されており、これらの環境基準を基礎として、県全域について騒音を総合的に数量化することを検討した。

その結果、航空機騒音、鉄道騒音、建設作業騒音については、間欠的かつ局所的騒音であるという特性から、これらを除外した場合、騒音は地域平均の等価騒音レベルをもって数量化することが可能であり、よって本計画の対象項目とした。

なお、航空機騒音及び鉄道騒音のうちの新幹線鉄道騒音については、特殊騒音として本計画の対象項目とした。

### 4. 地 盤 沈 下

地盤沈下については、地盤沈下を来たさない限度としての地下水揚水量について数量化することを検討した。しかしながら、基礎資料となる地下水賦存量などの資料が不足していることから、これら資料が整備されるまでの間、水理・地質など現存資料に基づいて地下水盆を設定し、当該地下水盆ごとに軟弱層の分布状況などを検討することとし、よって地盤沈下における地下水盆を計画の対象項目とした。

### 5. 振 動 ・ 悪 臭

振動、悪臭については、現状の科学的知見では数量化が困難なので本計画の対象項目から除外した。

### 6. 土 壌 汚 染

土壌汚染については、「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」に規定するとおり、人の健康を損なう恐れがある農畜産物が生産され、または農作物などの生育が阻害されることを防止することが目的であり、法令の規制値以下であるべきものであるため環境容量の設定になじまないため、本計画の対象項目から除外した。